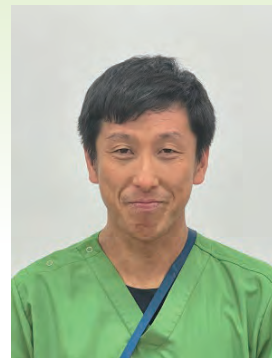


第60回北海道 障がい者スポーツ大会 陸上競技 理学療法士ブース設置



健康スポーツ局 障がい者スポーツ支援部
部長 塚田 鉄平

障がい者スポーツ支援部部長の塚田です。北海道にも梅雨が来るなんて10年前には想像もしていませんでしたね…。

さて、6月19日に3年ぶりに網走で第60回北海道障がい者スポーツ大会陸上競技が開催されました。

障害区分は、上肢障がい者(切断)、下肢障がい者(切断)、体幹機能障がい者、脳原性麻痺以外で車いす常用・使用者、脳原性麻痺を有する者、視覚障がい者、聴覚障がい者、知的障がい者、内部障がい者(ぼうこうまたは直腸障がい)に分けられ、参加資格は広く設け



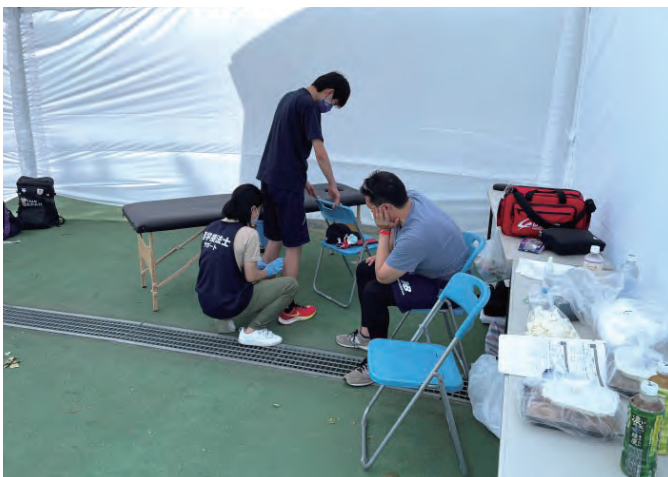
られています。今年は参加選手が例年より少なく、157名が参加されていました。

競技は競争種目、跳躍種目、投擲種目が行われました。競争種目では短距離、中距離は各障害区分によって分かれて行われるだけではなく、この大会では、車椅子に乗って障害物を交わして30m走行するスラローム競技という競技があったり、投擲競技でも、砲丸投げ、ソフトボール投げ、ジャベリックスローだけでなく、お手玉のような物(150g)を投擲するピーンバック投など重い障がいを持たれた選手にも配慮された競技も開催されていました。

障がい者スポーツ支援部では、今年から初めてこの大会に4名のスタッフを動員して理学療法士ブースを設置し、大会救護班の保健師の方と協力して活動しました。

この日の天候は晴天に恵まれ27℃と暑く、救護班の方と協力し、熱中症の選手への対応や理学療法士の職能を生かしたストレッチ、コンディショニングなどの選手のケア、走り方や痛みに関する相談業務を実施しました。

大会主催者側からも感謝の言葉と、『来年度もよろしくお願いします』とのお言葉をいただきました。



今後、10月9日に北見で行われる北海道障がい者スポーツ大会車椅子バスケットボール競技に関してもご依頼をいただきましたので理学療法士ブースに興味のある方はぜひこちらのアドレスにご連絡ください。

【メール宛先】 dsports.health.hpta@gmail.com